

京都嵯峨芸術大学

広報
38

Information

本学関係者による展覧会情報

- 兼先恵子 斎藤高志 大住由季 栗原知枝／染織
『京都府工芸作家協会』
会期:9月27日(火)～10月16日(日) 会場:京都文化博物館(京都)
- 江村耕市／メディアデザイン
『五感で感じる和の文化事業・京都創生座 番外編
〈伝統芸能バリエابل〉キュピキュピと伝統芸能の女たち』
会期:10月16日(日) 13:00／17:00(2回公演) 会場:京都芸術劇場・春秋座(京都)
※ビジュアルデザインを担当
- 栗原知枝 吉引ありさ 安藤隆一郎／染織
『清流展』
会期:9月25日(日)まで開催中 会場:染・清流館(京都)
- 栗原知枝／染織
『栗原知枝 染色展』
会期:2012年1月22日(日)～1月27日(金) 会場:ギャラリーマロニエ5F(京都)
- 安藤隆一郎／染織
『六甲ミーツ・アート芸術散歩2011』
会期:11月23日(水・祝)まで開催中 会場:六甲ケーブル(兵庫)
※グループ「ゆ」のメンバーとして出品

附属博物館

- 『京都嵯峨芸術大学附属博物館開館10周年記念展
おもちゃ絵の軌跡～郷土玩具とおもちゃ絵～』
会 期:10月9日(日)～12月7日(水)10時～17時
休 館 日:10月9日,11月6日を除く日曜日,11月12～11月14日
記念講演:10月29日(土)14時30分～16時(会場は学内AVホールを予定)
講 演 者:森田俊雄(『和のおもちゃ絵・川崎巨泉』著者)

附属博物館は今年度で開館10周年を迎えます。その記念展として、浅見素石先生のご遺族より寄贈されました郷土玩具書籍を中心に、「おもちゃ絵」の軌跡を辿ります。優れた郷土玩具の衰亡を嘆く多くの画家や民芸を愛する者たちが、変わり行く郷土玩具の面影を留め、後世に伝えていこうと様々な「おもちゃ絵」を描きました。作家それぞれの「おもちゃ絵」の捉え方、表現の仕方を、実際の郷土玩具とともに楽しみください。

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」

- 『京都嵯峨芸術大学短期大学部専攻科 日本画作品展』
日時:10月25日(火)～10月30日(日) 10時～18時 ※最終日は17時まで 無休
- 『嵯峨地域小学校・中学校・高校・大学連携交流展』
日時:11月16日(水)～11月19日(土) 10時～17時 ※最終日は16時まで 無休
- 『SAGA ART JAM 展』
日時:11月21日(月)～11月27日(日) 10時～18時 ※最終日は16時まで 無休
- 『大学院修了作品展』
日時:2012年1月11日(水)～1月13日(金) 10時～18時 ※最終日は17時まで 無休
- 『めくるめくるファンタジー 絵本とその原画展』
日時:2012年1月15日(日)～1月22日(日) 10時～18時 ※最終日は17時まで 無休

※展覧会スケジュールは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

連続公開講座「京の美意識」スケジュール

2011年は学園創立40周年を迎えることから、講師陣は全て本学関係者で開催いたします(参加無料)。本学が40年にわたり培った「京の美意識」を工芸、文化、歴史等の各分野からお話いただきます。また、ご希望の方には過去の講演録を販売しています(一冊千円)。

■第64回 9月24日(土)	山路 興造 〈民俗芸能学会・藝能史研究会代表、 元本学客員教授〉	祭りに輝く京の美意識
■第65回 10月22日(土)	土田 博之 〈株式会社 土田人形 代表取締役社長・本学卒業生〉	物作り、京陶人形を通して
■第66回 11月26日(土)	深田 進 〈本学名誉教授〉	古代山背の神奈備の山河に 神々と秦氏と鴨氏のいる「眺め」
■第67回 1月21日(土)	三好 郁朗 〈本学学長〉	京都とパリと ―異文化のはざまで思うこと―
■第68回 3月24日(土)	大森 正夫 〈本学教授〉	京の空間美 ～花の見方に作法があるなら～

※いずれの回も14:20～有響館G401教室にて(参加無料)。
お申込み・お問合せは文化事業部まで。TEL.075-864-7898

あらし山びこスケジュール

本学附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしなが、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日時:第3土曜日(11月を除く) 13:30～ 入場料:無料 参加自由
場所:京都嵯峨芸術大学 釈原キャンパス「有響館」1階 附属図書館内

回	日程	プログラム	テーマ
5	10月15日(土)	30分	しゅうかくさい
6	11月 5日(土)	80分	はたらく
7	12月17日(土)	30分	おしょうがつ
8	2012年 1月21日(土)	30分	かみさま
9	2012年 2月18日(土)	30分	おに
10	2012年 3月17日(土)	30分	たびだち

※大学授業や行事等により開催日を変更、またテーマも変更する場合があります。

出版情報／メディアでの紹介

- 真板昭夫教授が共著で執筆した書籍が刊行



『〔東日本大震災・原発事故〕復興まちづくりに向けて』
編 者:学芸出版社編集部
出版社:学芸出版社
発行日:2011年7月22日
定 価:1890円(本体1800円)
ISBN978-4-7615-1289-7

〔編集後記〕今号より誌面をリニューアルしました。文字は新聞をイメージした縦組みで、これまでよりも読みやすく掲載情報の充実を目指してデザインしました。印象など、皆さんのご意見もお聞かせください。さて、学園創立40周年記念事業も残すところ10月15日のシンポジウムのみになりました。記念事業は終わっても、その後の嵐芸祭も今年はパワーアップして開催する予定です。40年の節目を経て、さらにその先へと歩み続ける嵯峨芸にご期待ください。(広報室)



学校法人 大覚寺学園

2011年、学園創立40周年を迎えました。

京都嵯峨芸術大学 大学院・芸術学部・短期大学部

京都嵯峨芸術大学広報 第38号・2011年9月20日発行 編集:京都嵯峨芸術大学 総務部 広報室 発行:学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学
〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 TEL.075-864-7859 FAX.075-881-7133 info@kyoto-saga.ac.jp http://www.kyoto-saga.ac.jp/



NEWS

大学報告

教育後援会
報告

平成23年度教育後援会総会が7月3日(日)に本部キャンパスAVホールにて開催され、22年度事業報告・決算と23年度事業計画・予算が承認されました。引き続き、坂田岳彦学生部長から学生生活について報告が行われ、閉会后、学科分野別に担当教員

との懇談会、希望者には成績関係や学生生活、進路関係についての個別相談が実施されました。

2011年度
オープン
キャンパス
報告

2011年度は、前年度から実施しているオープンクラスを4月29日(金・祝)、7月29日(金)に、オープンキャンパスを6月19日(日)、7月30日(土)、31日(日)、10月9日(日)に開催。現在、10月9日(日)のオープンキャンパス以外の日程を終了



し、総来場者数は1221名受験生844名、保護者377名となりました。オープンクラスでは、4月に公開された授業の合評を7月に公開するなど、各イベントへの受験生の継続的な参加を目指しました。今回のオープン

入試相談会
進路・就職
支援サポート
報告

7月30日(土)・31日(日)の「オープンキャンパス入試相談会」で、本学独自のキャリアサポート及びキャリア支援について高校生や父母の方々を対象に説明会を実施しました。近年の厳しい就職環境の中、本学の学生が取り組んでいる

就職活動について、入学後のオリエンテーションから大学、短期大学別の進路ガイダンスに始まり、キャリアアプランニング授業、自己分析、進路登録、インターシップ、業界研究、学内会社説明会、ビジネスマナー講座、その他各種の就活支援講座な

ど、本学が行っている進路サポートの状況の説明を行いました。また、進路支援相談コーナーには、進路状況や企業の募集状況等、就職・進学についての相談に多数の参加がありました。夏期休暇中、協力企業各社様

のご協力により「インターンシップ」実習生を受け入れていただきました。今年度は、新規の受入企業様も多く、次年度のカリキュラム化に向けて多くの学生を送り込んでいます。学内では、資格取得対策講座を開講して夏期休暇中に資格取得が

学園創立
40周年記念
展覧会開催
レポート

学園創立40周年記念事業イベントのひとつである記念展覧会「まなざしの哲学―京都嵯峨芸術大学の40年」が6月14日(火)・19日(日)まで京都市美術館別館にて開催されました。本展覧会は本学の専任教員・元教員・卒業生の中から選出された124名の



アーティスト、デザイナーが一堂に会した絢爛豪華な内容となり、京都市美術館別館の来場者数では異例の1100名を超える方々に観覧していただくことができました。会場は日本画・洋画はもちろん、染織・陶芸・デザイン・マンガとバラエティに富んだ作

品が並び、さまざまな個性がぶつかり合う独自の空間を興味深く観賞する人が多く見られました。40年間の本学園の教育研究成果を振り返りながら、これからへつなげる足がかりとなる展覧会になったのではないでしょう

か。(広報室)

小学生
夏休み講座
報告

今年で9年目となる夏休み恒例企画「小学生夏休み講座」を8月2日(火)・4日(木)の3日間開催しました。1・3年生「ダンボールで好きなお店を作ろう」(北村正己教授担当)、4・6年生「伝承おもちゃを作る(六角鳳)」(仲政明准教授担



当と学年グループ毎にテーマを設定して制作。最終日に保護者も参加して合評・鑑賞会を行いました。近隣を中心に65名の小学生が参加し、この夏に本学で立休工作の面白さをじっくり体験することができたのではないかと思います。今後も本

学の特徴を生かし、地域に開かれた大学としてみなさまのニーズにお応えできる生涯学習をめざしていきます。(文化事業課)

公開討論会
「アートをも
教える―
表現がもたらす
自由―」

学園創立40周年記念事業のひとつ、公開討論会「アートを教える―表現がもたらす自由―」が7月16日(土)に緑原キャンパス有響館にて開催されました。「アートを教える、学ぶとはなにか」を議題に本学教員松本泰章教授を司会として、宇野和幸教



授・大島成己准教授、仲政明准教授・日野田崇准教授・上田香講師がメインの討論者になり、熱い議論が交わされました。前半はそれぞれの先生に「アートとの出会い」やその道に進むきっかけについて今まで聞く

事のできなかった貴重な経験。0円の義援金を集めることができました。5月20日(金)に、観光デザイン学科の真板昭夫教授と同学科の第一期卒業生の有志代表3名が学長室を訪れ、三好郁朗学長に義

観光デザイン
学科有志による
義援金活動
報告

東日本大震災を受け、本学の観光デザイン学科(現デザイン学科観光デザイン系)では、2011年3月より教員ならびに卒業生や在学生らの有志により、義援金募集活動を行ってきました。関係各位の皆様にご支援をお願いし、5月時点で29600

円の義援金を集めることができました。5月20日(金)に、観光デザイン学科の真板昭夫教授と同学科の第一期卒業生の有志代表3名が学長室を訪れ、三好郁朗学長に義援金の受渡しを行いました。被災地の一日も早い復興をお

祈りますとともに、ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。集められた義援金は、本学事務局を通して「日本赤十字社」に送られ、被災地の復興支援に役立てられます。(広報室)

FD委員会

7月6日(水)、本学講堂にてFD委員会が開催されました。FDとはFaculty Developmentのことで、大学教員の資質の向上を目指し、より有意義な授業を行うための方法や策を考える組織。今回は「授業おもしろい?」をテーマに、教員をば

め有る志の学生や職員ら60名を超える参加者が集いました。5チームに分かれ座談会形式でそれぞれの立場から自由に意見を出し合い、授業に関わる様々なことを2時間あまりにわたって話し合いました。教職員と学生が一堂に会し、授業以

外、時間を活用して大学教育の向上を目指して意見交換するという貴重かつ有意義な時間となりました。(広報室)

省エネルギー
推進委員会

7月6日(水)に、第1回目となる本学の省エネルギー推進委員会が開催されました。本学では、これまでも各種の省エネルギー推進化を行ってきましたが、2011年3月に起こった福島原子力発電所の事故に端を発する電力供給の問題がクロー

ズアップされたこともあり、今回はこれを全学的な運動と位置づけ「層の省エネルギー化」を推進するため、基本方針を定めました。本学では、夏期冷房の設定温度を原則28℃に設定することやクールビズの励行といった

等、省エネ行動から、不要な照明を切る、退出時には必ず空調を切る、パソコンやプリンター等の電源を夜間・休日中はOFFにするなど、個人で行う省エネ行動にいたるまで具体的な行動方針が定められました。また、キャンパス内でも看板

東日本大震災
講演会

7月12日(火)16時20分より、管理棟3階AVホールにて東日本大震災に関する講演会「高志を持つ被災地の現状から」が開催されました。本会は、東日本大震災の現状を知りたいと、在学生の有志たちによって企画・主催されたものです。

講師には、京都市教育委員会・総合教育センター指導主事の鈴木克治氏をお招きし、鈴木氏から3月下旬頃に訪れた宮城県仙台市若林区荒浜地域の当時の様子についてお話いただきました。崩壊した建物や街並の写真のほか、被災された方々に配られた食事



等の写真も紹介され、あまり報道されることがなかった現場の様子についてもお話されました。およそ1時間の間、聴講者たちは鈴木氏がボランティア活動を通して痛感されたという「相互協力」の大切さについて、熱心に耳を傾けていました。(広報室)

大学行事予定

Sep.2011 - Feb.2012



- 9月24日(土)……………■京の美意識「祭りに輝く京の美意識」
 9月28日(水)……………■9月卒業式
 10月 9日(日)……………■オープンキャンパス
 10月15日(土)……………■シンポジウム「大学における芸術教育」
 10月21日(金)……………■月例法要
 10月22日(土)……………■京の美意識
 「物作り、京陶人形を通して」
 10月23日(日)……………■3年次編入学入試(前期)
 ■特別入試(前期)
 ※海外帰国生・社会人
 (芸術学部・短期大学部)
 11月 5日(土)・6日(日)……■大嵐芸祭
 11月12日(土)……………■推薦入試(短期大学部)
 11月13日(日)・14日(月)……■推薦入試(芸術学部)
 11月26日(土)……………■京の美意識
 「古代山背の神奈備の山河に
 神々と秦氏と鴨氏のいるく眺め」
 11月27日(日)……………■大学院入試(前期)
 12月15日(木)……………■月例法要
 12月18日(日)……………■特別入試(後期)
 ※海外帰国生・社会人
 (芸術学部・短期大学部)
 ■自己推薦入試(前期・短期大学部)
 12月27日(火)～1月10日(火)■冬季休業
 1月11日(水)……………■授業再開
 1月21日(土)……………■京の美意識
 「京都とパリとー異文化のはざままで
 思うことー」
 1月23日(月)……………■後期授業終了
 1月27日(金)……………■学園創立記念日
 1月30日(月)・31日(火)……■第40回制作展 作品搬入
 (京都市美術館)
 2月 1日(水)～5日(日)……■第40回制作展
 2月 7日(火)……………■一般入試(前期・短期大学部)
 2月 8日(水)……………■一般入試(前期・芸術学部)
 2月13日(月)～17日(金)…■後期集中授業
 2月28日(火)……………■一般入試(後期・短期大学部)
 ■専攻科入試(後期)
 ■3年次編入学入試(後期)
 ■大学院入試(後期)
 2月29日(水)……………■

本学は、昭和46年に開学し本年40周年を迎える事になりました。40年は決して短い歳月ではありません。この間、幾多の困難を乗り越え今日の京都嵯峨芸術大学を創り上げられた先輩諸賢に心からの敬意を表し、感謝の誠を捧げるものであります。

さて、本年、平成23年3月11日以降、日本の社会はかつて経験したことのない深刻な苦悩に直面し、行き場を失ったかに観えます。私はこの日、クライアントの事務所で執務していました。建物の二階に居ました。

二階ですが、クライアントの仕事の性質上、普通の建屋の四階くらいの高さではないかと思えます。かつて、桂川の河川敷であったと伝えられる地盤のせいか、建屋は大きく揺れました。

私は咄嗟の判断で休憩室に直行し、テレビの電源をONしました。

その段階では、「大津波警報」が出ているというテロップは流れましたが、未だ惨状というほどの事もなくその日は帰宅しました。東日本大震災から得た情報は種々ありますが、考えさせられる情報もありました。

一つ目は、人間が作った構造物が意外にもろいものだったという事でした。

東北の岩手県宮古市田老地区で「万里の長城」と呼ばれ、50年の歳月と、数億圓の巨費を投じて建設され、世界一の防潮堤としてギネスにも記録されて海外からも見学者があるほどの建造物だったにも拘らず、今回の津波の時には成す術もなく500mに亘って崩れ去り、多数の犠牲者と行方不明者が出たことでした。恐らく、亡くなられた被災者の中には防潮堤の抑止力を信じて裏切られた方が居られたのでは

ないかと想われ、その無念さ、悔しさを想うと涙が止まりません。二つ目は、今回の震災が前述したように、人智を超えた破壊力を持った大災害であったにも拘らず、被災された多くの皆様から希望を失う事無く力強く生きて行こうとされていることでした。

避難所として再起の準備をしている人達、故郷を遠く離れた土地に「青山」墓所とすべき土地を求めて避難所を離れる人達を見ていると人間の偉大さに改めて感動させられました。

被災された皆様の行動を拝見しながら、どの様な大きな災害でも生きて行こうという人の心を押さえて行こうという事は出来ない、もうくも崩れ去った建造物に比べ、人の心が如何に広大無辺な強靱さを持っていた事か!! この感動を表現する言葉を捜しあぐねました。

話は変わりますが、グレートジャーニーという言葉をご存知だったでしょうか。ぼるかな旅と言っ言方方をされる場合もあります。今から約5000万年前、アフリカの地溝帯に発生した人類が、凡そ150万年前後にアフリカを出てユーラシア大陸を横断し、陸続きだったペーリング海峡を経て南米大陸の先端に到達した5万数キロに及ぶ人類の移動が、このように呼ばれていると理解しています。

100万年以上前にアフリカを出た人類はアジア大陸で定住し、モンゴロイドとなり、モンゴロイドがペーリング海峡を越えたとされています。

私は、このグレートジャーニーという言葉を知り、その意味を知った時以来、1000万年以上前に住み慣れたアフリカを離れようとした彼らの心を突き動か

かしたものは、一体何だったのか知りたいたと考え続けて来ましたが、この出来は芸術しか無く、芸術こそ人の心に如何なる大災害をも乗り越えて生き抜く信念を醸成する事が出来る思想ではないか、と思うに至りました。

そしてそれが出来るのは京都嵯峨芸術大学を含む多くの芸術教育を標榜する教育機関ではないかと思いました。

今こそ、開学40周年を機に本学が役割を自覚し新たな一歩を踏み出すべきだと思いました。

【人類の起源に係る記述は国立科学博物館(日本人はるかな旅を参照しました)】

今こそ芸術大学の出番

ー開学40周年に思うー

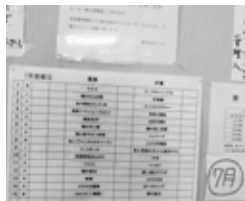
京都嵯峨芸術大学教育後援会副会長 森内 優



大覚寺境内に設置された風格あるたたずまいの女子寮外観。



寮生の安全のため防犯用カメラを設置しています。



申込制で食事ができるお寺の食堂の献立表やその他の掲示物。



寮生同士が時々集まって食事をしているようです。



共有スペースは寮生同士の交流に役立っています。



日当たりが良く掃除の行きとどいた玄関。

取材中は始終気さくに話をしてくださり、寮母さんの温かいお人柄が伝わるインタビューでした。色々なお話を聞かせていただきありがとうございました。これからも大覚寺女子寮について定期的にお話しをうかがっていきます(広報室)

column 5

大覚寺女子寮って どんなところ？

遠方からの入学生のために、旧嵯峨御所大覚寺門跡の境内に今年度から設置された大覚寺女子寮。謎に包まれたこの女子寮について寮母さんにお話しをうかがいました。

ー寮母さんと寮生の関係について教えてください。学校での出来事などを話してくれたりしますよ。今日は〇〇美術館に行ってきたなど話してくれるので聞いていて楽しいですね。そのほかは生活の中で困った事があればみなさんきちんと言ってくれるので助かります。寮生同士も共有スペースでよくお話ししていますよ。みんなが集まって食事会などもしています。地方北は秋田から南は沖縄まで)から来ている人が多いからか、みんなすぐ仲良くなっていましたね。

ー寮生の生活について教えてください。(食事、門限等)食事についてはお寺の食堂申込制で、飯を食べる人や自炊する人がいますね。お寺ゆえに文化財があるため火は使えないのですが、みなさん電子レンジのオーブン機能を使ったりして工夫しながら料理を作っています。それには本当に感心します。

寮の門限は9時30分です。でも何か事情がある場合や学校でのイベント事で遅くなる場合は前もって連絡してもらっています。遅くなる寮生がいる場合は帰ってくるのを確認するまでは必ず待っています。最近はお騒がせな事件も多いですからね。ちなみに消灯、入浴が11時までです。

ー寮が京都の大覚寺という場所に位置している事についてはどうですか。

京都を代表する観光地のひとつである大覚寺内ですから環境はもちろん、親御さんも安心してしていると聞いています。お寺内

にあるおかげで観月の夕べ(お月見イベント)の手伝いなどお寺の催しに声をかけてもらう事もあり、貴重な機会をいただいています。あとはお寺の敷地内にある寮という事でお寺や近隣の目もあります。ですから挨拶をしつかりしているかなど、生活態度については特にしつかり礼儀を寮生に教えるという事がありません。そこには気がつか

ー部屋は10畳ほどあり広いそうですが制作もできるのでしょうか。

ー最後に、寮母としてのやりがいは何ですか。寮生が出先で何かあったりして元気がない場合はとても心配しますし、今日は楽しかったと笑顔で帰ってきてくれるのが一番うれいですね。2年(短大・4年(大)後、健康で元気に卒業されるのを見送ることが私の一番の目標です。

2011/7/15 大覚寺女子寮にて



寮の管理を取り仕切る寮母の坂本さん。趣味は編み物だそうです。

屋で課題などの制作をしているようです。この前は針金を大量に持ってきて何か作っていました。染織の勉強をされている方は庭の土を掘って新しい染料を探していました。部屋も広いですから親御さんが寮に泊まりに来ることも良くあります。寮生の部屋以外にも来客用部屋があって泊まっていたいた方には朝のお参り(勤行)をしてもらい決まりになっています。

寮生にヒアリング、寮生活で感じた事いろいろ。友達が多くて、三食しっかりしてくれるので規則正しく、ご飯がおいしいが少し量が多い。門限が早い。大勢から少し遠い。寮母さんといってくれるので安全安心。シャワー室が欲しい。帰ったらお風呂が沸いているのがうれしい。